

学べば学ぶほど解らないことが増えていく

だから面白くて…と言った生徒がいました。

そんな学び、そんな授業、そんな学校でありたいと思います。

小林 学問が好きになるということは、たいへんなことだと思うけれども。

岡 人は極端になにかをやれば、必ず好きになるという性質をもっています。好きにならぬのがむしろ不思議です。好きでやるのじゃない、ただ試験目当てに勉強するような仕方は、人本来の道じゃないから、むしろそのほうがむずかしい。

小林 好きになることがむずかしいというのは、それはむずかしいことが好きにならなきゃいかんということでしょう。たとえば野球の選手がだんだんむずかしい球が打てる。やさしい球を打ったってつまらないですよ。ピッチャーもむずかしい球をほうるのですからね。つまりやさしいことはつまらぬ、むずかしいことが面白いということが、だれにでもあります。選手には、勝つことが面白いだろうが、それもまず、野球全体が面白くなっているからでしょう。その意味で、野球選手はみな学問をしているのですよ。ところが学校というものは、むずかしいことが面白いという教育をしないのですな。（「人間の建設」小林 秀雄・岡 潔 より抜粋）

安房高等学校は百年を超える歴史を有する古い学校です。その歴史の中で脈々と受け継がれてきたもの、失われなかったものを大切にしていきたいと思っています。

安房高は、いま「むずかしいこと」に挑もうとしています。

県下の「進学指導重点校」として、古今東西唯一無二の高等学校として安房高は飛翔します。

【安房高校の取組】

◎「行ける大学」ではなく「行きたい大学」

千葉県教育委員会から、平成19年に進学指導重点校の指定を受け、単位制の導入、1日7限授業の展開、1年次30人クラス編成などを進めてきました。

またICTを活用し自宅学習にも対応できるシステムやWi-Fi環境を整えた学習室の整備など、「自ら学ぶ」姿勢を支える環境づくりを推進しています。

そして、地域の期待（「安房の子は安房で育てる」）に真正面から応えることができる学習環境の整備に確固たる決意をもって臨みます。

◎質実剛健・文武両道

礼を重んじ、他者への尊重を始めに置く…誰よりも深く静かに頭を垂れる「5秒礼」から安房高校の式典は開始されます。その基盤の上に、文武両道の実現を目指します。

東京大学100名、柔道・剣道の全国制覇、甲子園出場、文化部の国際レベルでの活躍…それは歴史上の物語ではなく、つなげていく真実…「安房高校の歴史を誇り 時代の道に我等はこぞれり」…

◎特色ある教育活動（教員基礎コース・高大連携など）

本校は千葉県で最初の「教員基礎コース」が設置された学校の一つです。その背景には、卒業生の多くが県内外の学校で教師として活躍している実績があります。放課後や週休日を活用し、大学の先生方に講義をお願いしたり、地域の小中学校等の協力のもと体験実習をさせていただいたりしています。

また、本校の教育活動への指導・支援をいただくため国内外の大学との教育連携を推進しています。

連携協力をいただいている大学

（国立）千葉大学・大阪教育大学 （私立）敬愛大学、聖徳大学、沖縄大学

（海外）国立台南大学、開南大学、中華大学、樹徳科技大学、元智大学

安房高校は公立高校です。施設・設備には古いものもたくさんあります。通学用のバスはありません。特待生制度もありません。…その中で「高み（頂点）」を目指します。そのために努力し、工夫し、全力を尽くします。

令和4年

安房高等学校長 石井 浩己